

横河電機株式会社

2021年3月期 決算説明会

2021年5月11日

1. 2021年3月期 連結決算の概要 P. 3

取締役 専務執行役員 経営管理本部長 穴吹 淳一

2. 決算補足資料 P. 17

四半期別実績／営業外・特別損益／受注残推移

研究開発費・減価償却費・設備投資／貸借対照表／株価の状況

3. 参考資料 P. 25

制御ビジネス金額別受注推移／トピックス

YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

横河電機株式会社

2021年3月期 連結決算の概要

対象期間：2020年4月1日～2021年3月31日

取締役 専務執行役員 経営管理本部長
穴吹 淳一

■ FY20実績

- ・サマリー : 売上はCOVID-19や為替影響等により減収、営業利益は主に減収により減益
当期純利益は前年同期にのれん等減損損失を計上した反動で増益
- ・セグメント別 : 制御 減収減益 (除・為替および子会社譲渡影響 : 受注13.8%減、売上5.2%減、営業利益2.1%減)
計測 増収減益
航機その他 減収減益
- ・地域別 : 全地域で厳しい受注環境の中、中国、中南米が健闘
- ・業種別 : COVID-19の影響や昨年度の大口の反動を受け、エネルギー関連業種は減少

■ FY20期末配当金 : 修正なし (当初予定通りの17円配当)

■ FY21業績予想および配当予想 : 減収減益、配当金は前年と同額を維持

- ・業績予想 : COVID-19感染拡大の鈍化に伴い、経済活動停滞等の影響による受注高の減少は底を打ち、今後徐々に回復傾向に向かうと予想しているものの、受注残高が大幅に減少しているなかで、売上高の回復にはまだ時間がかかるものと予想。営業利益は、減収及び新事業関連などへの先行投資による費用増等を織り込み減益となる予想
- ・配当予想 : 減益予想だが、年間配当金は前年と同額の34円を維持

決算サマリー（前年同期比）

- ◆受注・売上 : 受注は**減少**（除・為替および子会社譲渡影響▲12.7%）
売上は**減収**（除・為替および子会社譲渡影響▲5.2%）
- ◆営業利益 : 営業利益は主に減収により**減益**
- ◆当期純利益 : 当期純利益は前年同期にのれん等減損損失を計上した反動で**増益** （億円）

	FY19	FY20	差異	増減率	為替および 子会社譲渡影響
受注高	4,187	3,558	▲629	▲15.0%	▲103
売上高	4,044	3,742	▲302	▲7.5%	▲93
営業利益	356	316	▲40	▲11.2%	▲20
ROS(%)	8.8	8.4	▲0.4pt	—	—
経常利益	363	341	▲22	▲6.0%	▲21
親会社株主に帰属 する当期純利益	147	192	+45	+30.9%	▲18
EPS(円)	55.02	72.00	+16.98	+30.9%	—
ROE(%)	5.1	6.5	+1.4pt	—	—
為替レート 1米ドル=	108.96円	106.01円	▲2.95円	—	—

決算サマリー（対予想）

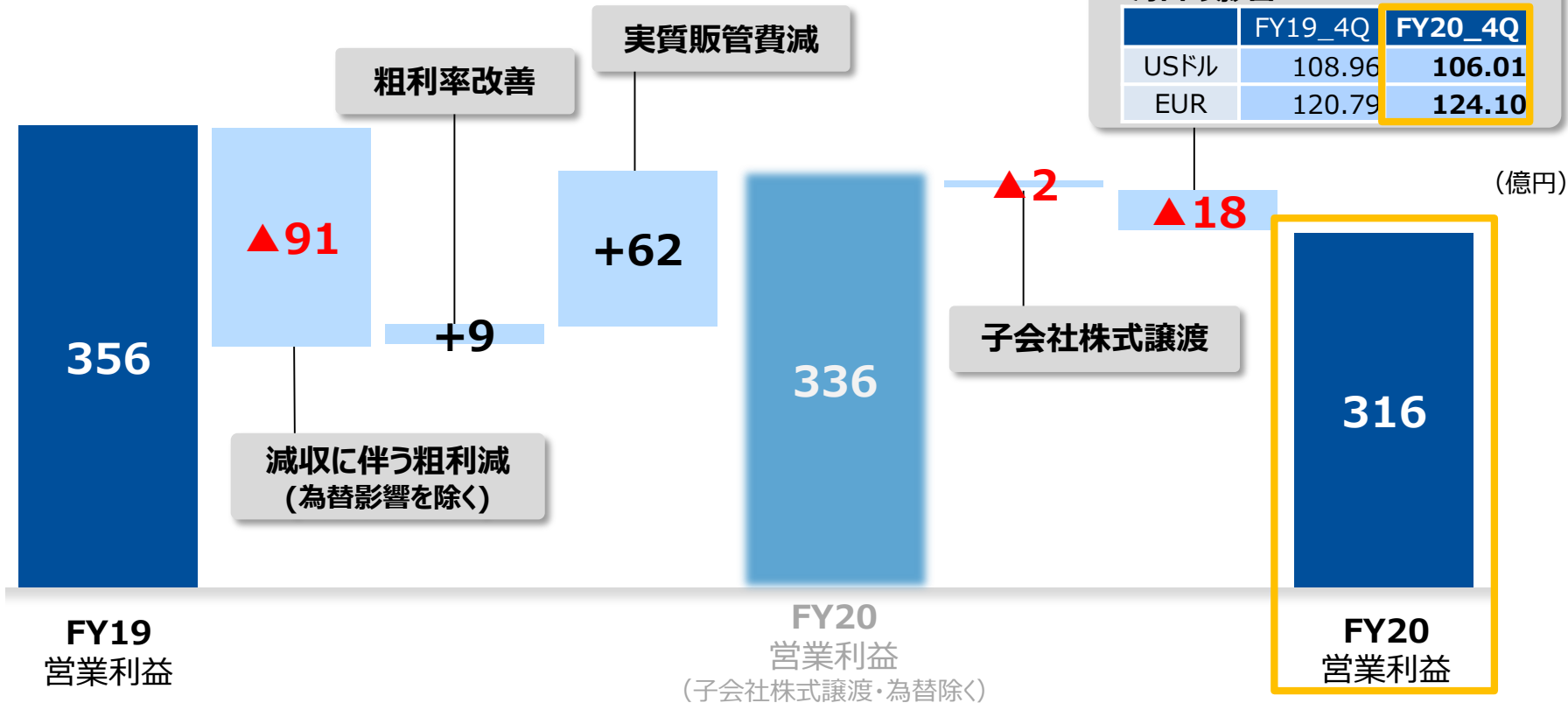
◆売上・営業利益・当期純利益は概ね想定通りの着地

(億円)

	FY20予想 (2/9)	FY20	差異
受注高	3,600	3,558	▲42
売上高	3,750	3,742	▲8
営業利益	300	316	+16
ROS(%)	8.0	8.4	+0.4pt
経常利益	300	341	+41
親会社株主に帰属する 当期純利益	190	192	+2
EPS(円)	71.18	72.00	+0.82
為替レート 1米ドル=	105.00円	106.01円	+1.01円

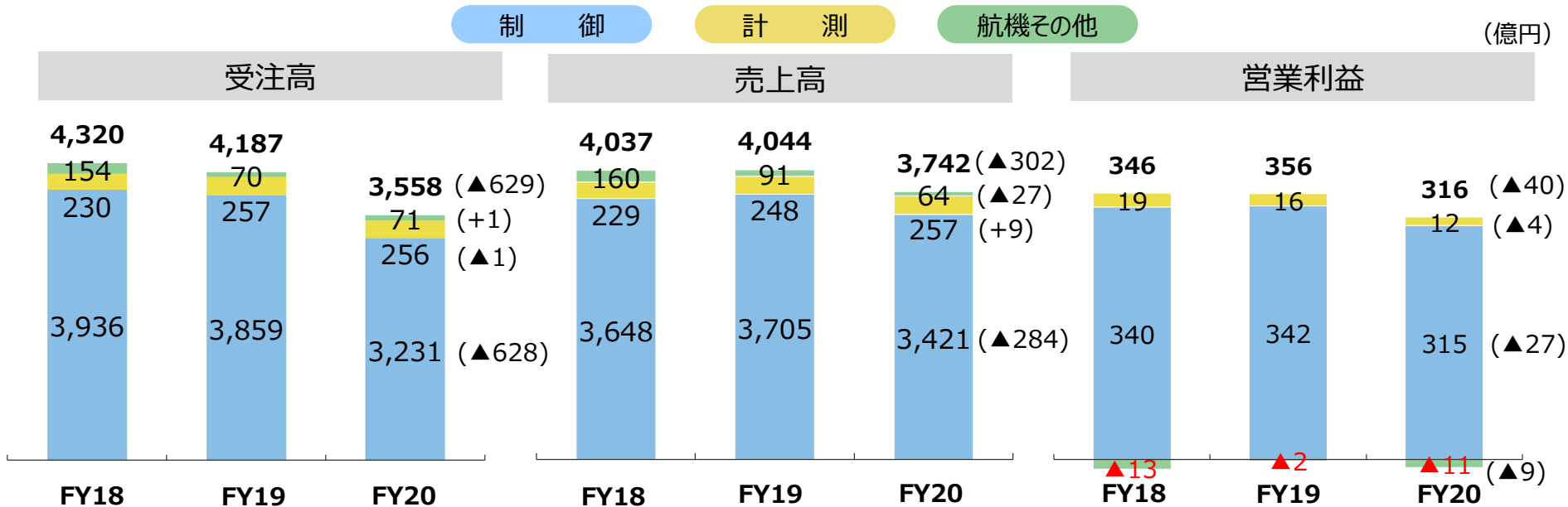
営業利益分析（前年同期比）

◆減収の影響を受けたが、コスト削減により、減益額を抑制



セグメント別 受注・売上・営業利益

- ◆制御事業 : 受注・売上は、COVID-19や為替影響等により減少
(除・為替および子会社譲渡影響 : 受注▲13.8%、売上▲5.2%)
営業利益は、主に減収により減益 (除・為替および子会社譲渡影響 : ▲7億円、▲2.1%)
- ◆計測事業 : 売上は堅調だが、ライフイノベーション事業における先行投資の影響等で増収減益
- ◆航機その他事業 : 航空関連機器需要の低迷などにより減収減益



制御地域別 受注・売上高

◆受注：COVID-19や為替影響等を受け減少したが、中国、中南米は増加(除・為替および子会社譲渡影響：▲528億円、▲13.8%)

◆売上：COVID-19や為替影響等を受け減少(除・為替および子会社譲渡影響：▲192億円、▲5.2%) (億円)

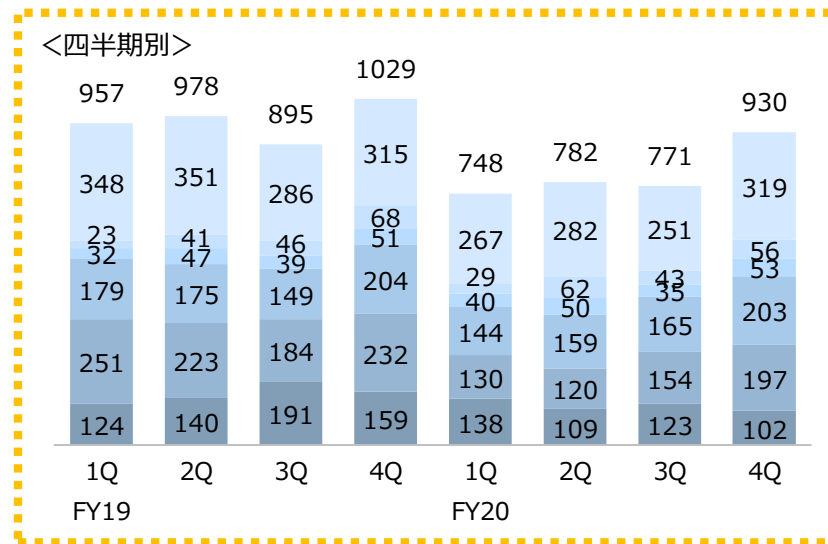
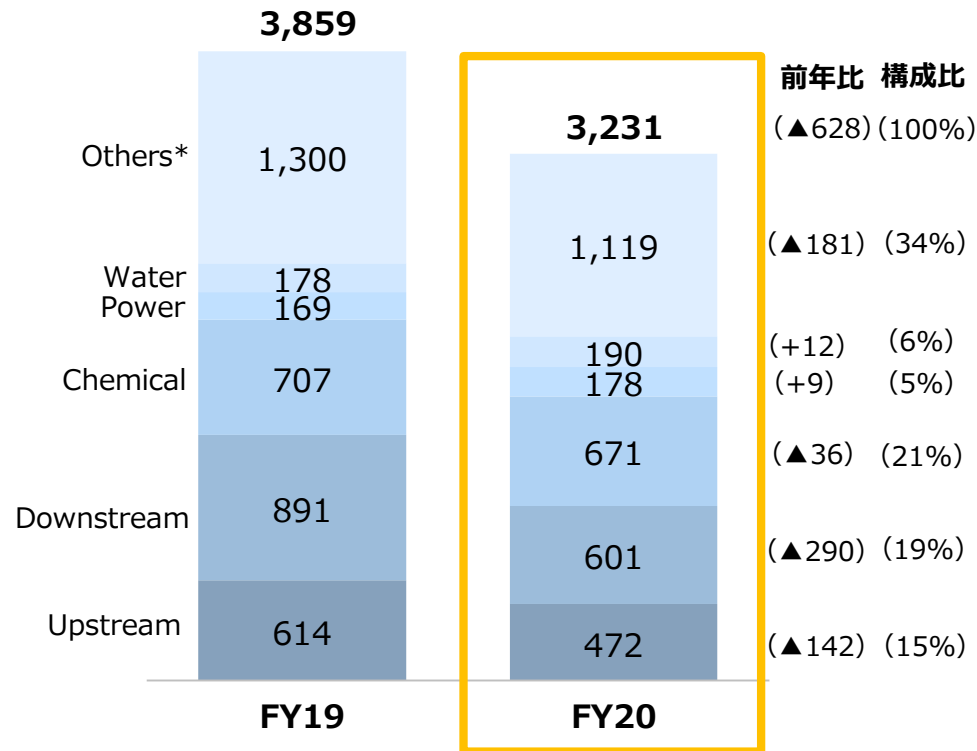
受注高	FY19 (A)	FY20 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,154	1,100	▲54
アジア	1,227	1,048	▲179
(東南アジア・ 極東)	(628)	(499)	(▲129)
(中国)	(423)	(430)	(+7)
(インド)	(176)	(119)	(▲57)
欧州・CIS	497	391	▲106
中東アフリカ	568	379	▲189
北米	322	203	▲119
中南米	91	110	+19
海外小計	2,705	2,131	▲574
合計	3,859	3,231	▲628
為替レート 1米ドル=	108.96円	106.01円	▲ 2.95円

売上高	FY19 (A)	FY20 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,098	1,064	▲34
アジア	1,184	1,135	▲49
(東南アジア・ 極東)	(619)	(564)	(▲55)
(中国)	(425)	(448)	(+23)
(インド)	(140)	(123)	(▲17)
欧州・CIS	500	411	▲89
中東アフリカ	541	420	▲121
北米	294	296	+2
中南米	88	95	+7
海外小計	2,607	2,357	▲250
合計	3,705	3,421	▲284
為替レート 1米ドル=	108.96円	106.01円	▲ 2.95円

制御業種別 受注高

◆ COVID-19の影響や昨年度の大口の反動を受け、エネルギー関連業種は減少

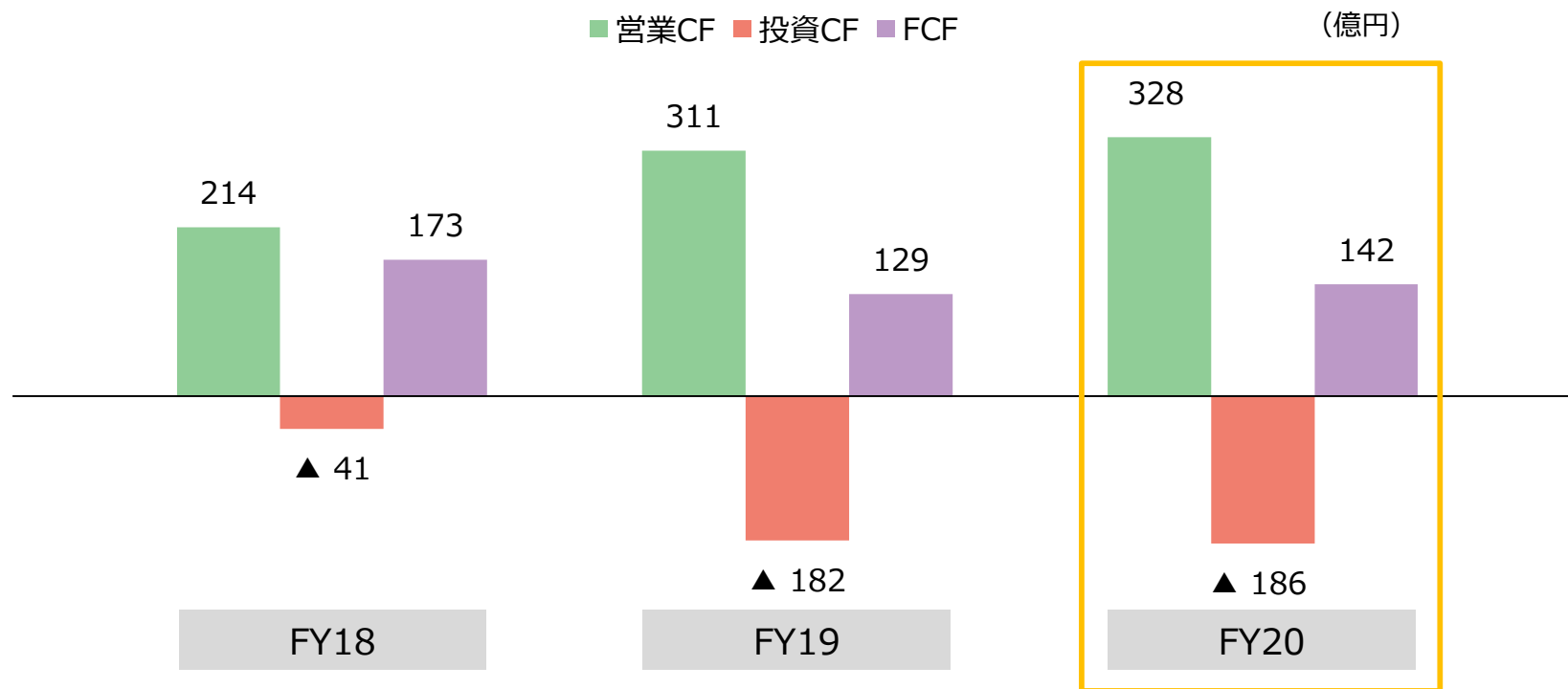
(億円)



*Othersの主な業種：Pharma Food、ELECTRICAL & ELECTRONIC、IRON & STEEL、PULP & PAPER ほか

※FY21より業種区分変更予定

キャッシュ・フロー



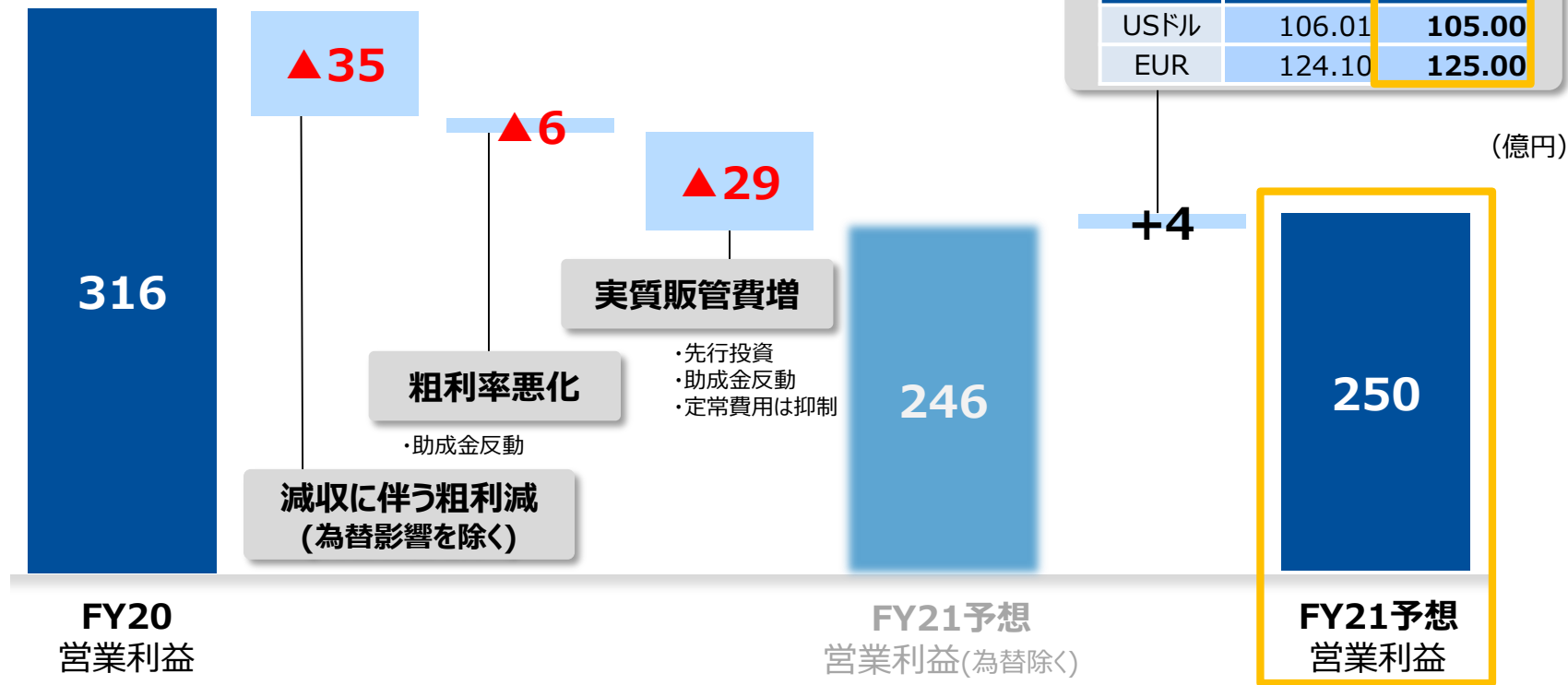
FY21業績予想

- ◆受注高は、COVID-19感染拡大に伴う経済活動停滞の影響による減少は底を打ち、今後徐々に回復傾向に向かうと予想
小口PJT（OPEX関連中心）から回復に向かい、大口PJT（CAPEX関連中心）は少し遅れて回復に向かう想定
- ◆売上高は、期初受注残高が大幅に減少しているなかで、回復にはまだ時間がかかるものと想定し、減収予想
- ◆営業利益は、減収に加えて、政府補助金の反動減および新事業関連などへの先行投資による費用増等を織り込み、減益予想（億円）

	FY19	FY20	FY21	前年比	伸長率
受注高	4,187	3,558	3,800	+242	+6.8%
売上高	4,044	3,742	3,700	▲42	▲1.1%
営業利益	356	316	250	▲66	▲20.9%
ROS(%)	8.8	8.4	6.8	▲1.6pt	—
経常利益	363	341	250	▲91	▲26.7%
税引前利益	258	315	250	▲65	▲20.6%
法人税等	111	123	90	▲33	▲26.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	147	192	160	▲32	▲16.7%
EPS(円)	55.02	72.00	59.94	▲12.06	▲16.8%
為替レート 1米ドル=	108.96円	106.01円	105.00円	▲1.01円	—

営業利益分析（予想）

◆減収および新事業関連などへの先行投資による費用増等を織り込む



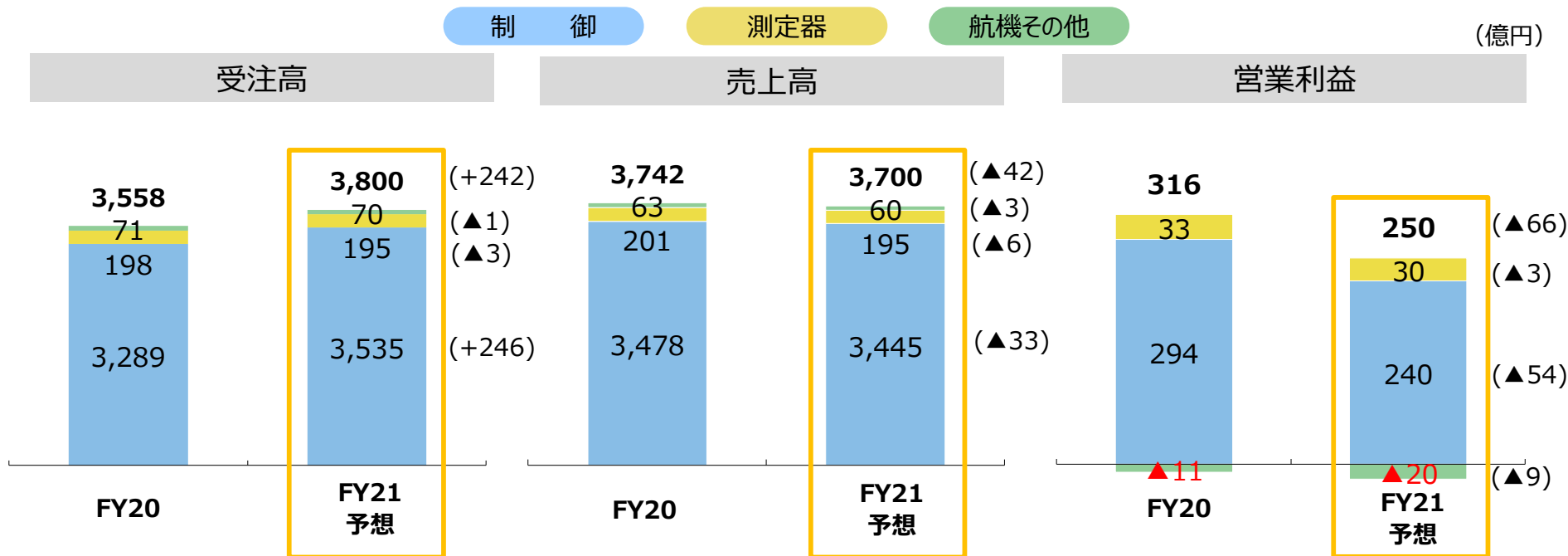
セグメント変更およびFY21予想

- ◆FY21から、事業セグメントの「計測事業」の名称を「測定器事業」に変更
- ◆旧「計測事業」に含まれていたライフイノベーション事業を「測定器事業」から「制御事業」にセグメント変更

旧セグメント	新セグメント	FY21 通期予想 (億円)		FY21予想
制御事業	制御事業	受注高	3,535	受注高は、COVID-19感染拡大の鈍化に伴うお客様の投資意欲に一定程度の回復が見込まれることなどから、増加する予想。
		売上高	3,445	売上高は、受注残高が大幅に減少しているなかで、回復にはまだ時間がかかるものと予想。
		営業利益	240	営業利益は、減収および新事業関連などへの先行投資による費用増等により、減益となる予想。
計測事業	測定器事業 (名称変更)	受注高	195	受注高、売上高、営業利益ともにFY20並みの予想。
		売上高	195	
		営業利益	30	
航機その他事業	航機その他事業	受注高	70	受注高、売上高はFY20並み。営業利益は主に新事業（バイオ関連等）の先行投資費用の増加により、減益予想。
		売上高	60	
		営業利益	▲20	

ライフイノベーション事業 (セグメント変更)

セグメント別 受注・売上・営業利益（予想）



*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

変更額(計測事業→制御事業)：受注高+59億円、売上高+57億円、営業利益▲21億円

制御地域別 受注・売上高（予想）

(億円)

受注高	FY20 (A)	FY21 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,129	1,160	+31
アジア	1,049	1,125	+76
(東南アジア・ 極東)	(499)	(540)	(+41)
(中国)	(431)	(445)	(+14)
(インド)	(119)	(140)	(+21)
欧州・CIS	400	440	+40
中東アフリカ	379	450	+71
北米	222	250	+28
中南米	110	110	0
海外小計	2,160	2,375	+215
合計	3,289	3,535	+246
為替レート 1米ドル=	106.01円	105.00円	▲ 1.01円

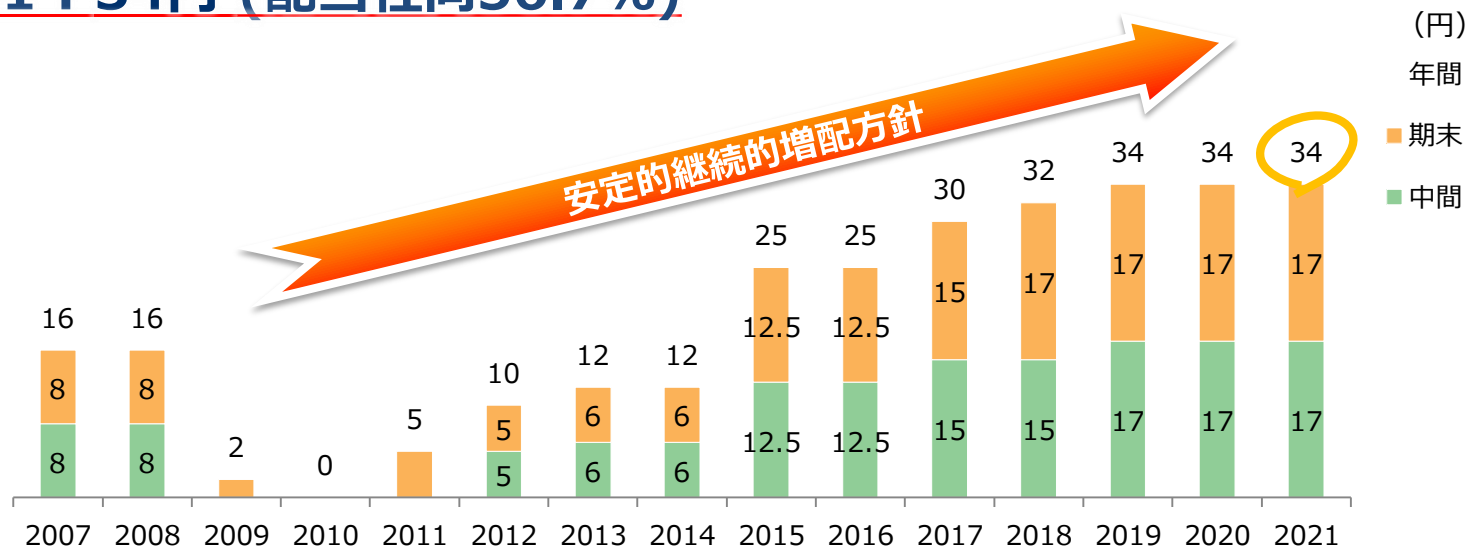
売上高	FY20 (A)	FY21 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,093	1,090	▲3
アジア	1,136	1,110	▲26
(東南アジア・ 極東)	(564)	(560)	(▲4)
(中国)	(449)	(420)	(▲29)
(インド)	(123)	(130)	(+7)
欧州・CIS	419	425	+6
中東アフリカ	420	450	+30
北米	315	270	▲45
中南米	95	100	+5
海外小計	2,385	2,355	▲30
合計	3,478	3,445	▲33
為替レート 1米ドル=	106.01円	105.00円	▲ 1.01円

*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

・FY21配当は前年と同額を維持

FY20 : 34円 (配当性向47.2%)

FY21 : 34円 (配当性向56.7%)



決算補足資料

- ・四半期別実績
- ・営業外・特別損益
- ・受注残推移
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表
- ・株価の状況

補足：四半期別実績

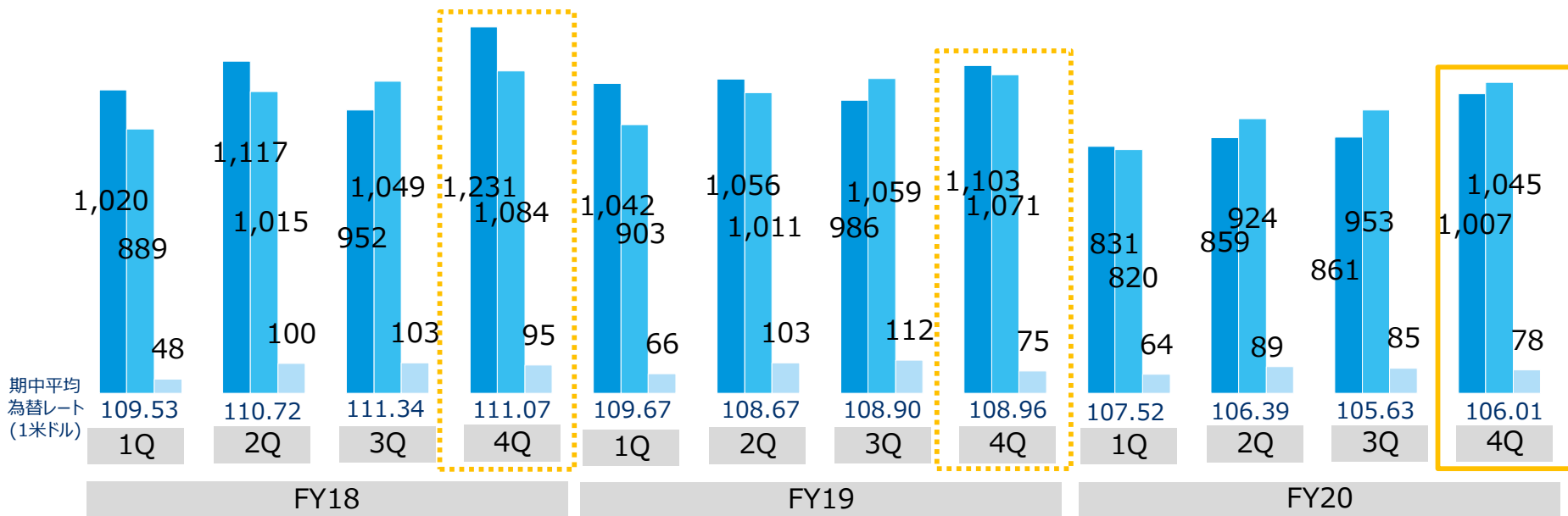
◆売上高・営業利益は、日本の制御事業を中心に2Qおよび4Qに集中傾向

子会社譲渡の影響額

FY19 年間 受注：▲28億円 売上：▲20億円 営業利益：▲2億円

■ 受注 ■ 売上 ■ 営業利益

(億円)



補足：営業外・特別損益

	(億円)	
	FY19	FY20
営業利益	356	316
営業外収益	49	44
営業外費用	42	19
経常利益	363	341
特別利益	28	2
特別損失	134	28
税引前利益	258	315
法人税等	111	123
親会社株主に帰属する 当期純利益	147	192
(税負担率)	36.3%	32.4%

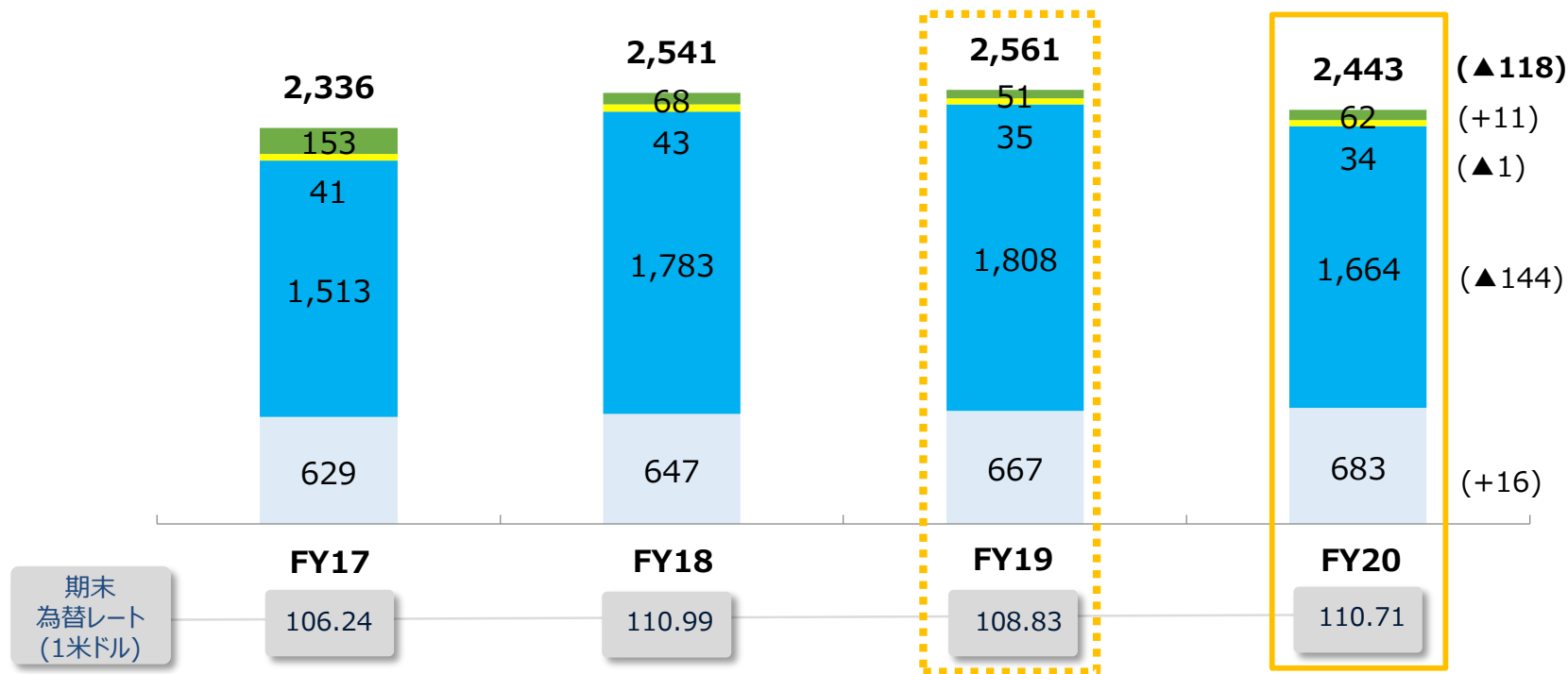
FY19：為替差損 19億円

FY19：投資有価証券等売却益等 15億円
事業譲渡益 8億円

FY19：減損損失(KBC) 95億円
ソフトエラー対策強化引当金
繰入額 35億円
FY20：事業構造改善費用 17億円

補足：セグメント別 受注残推移

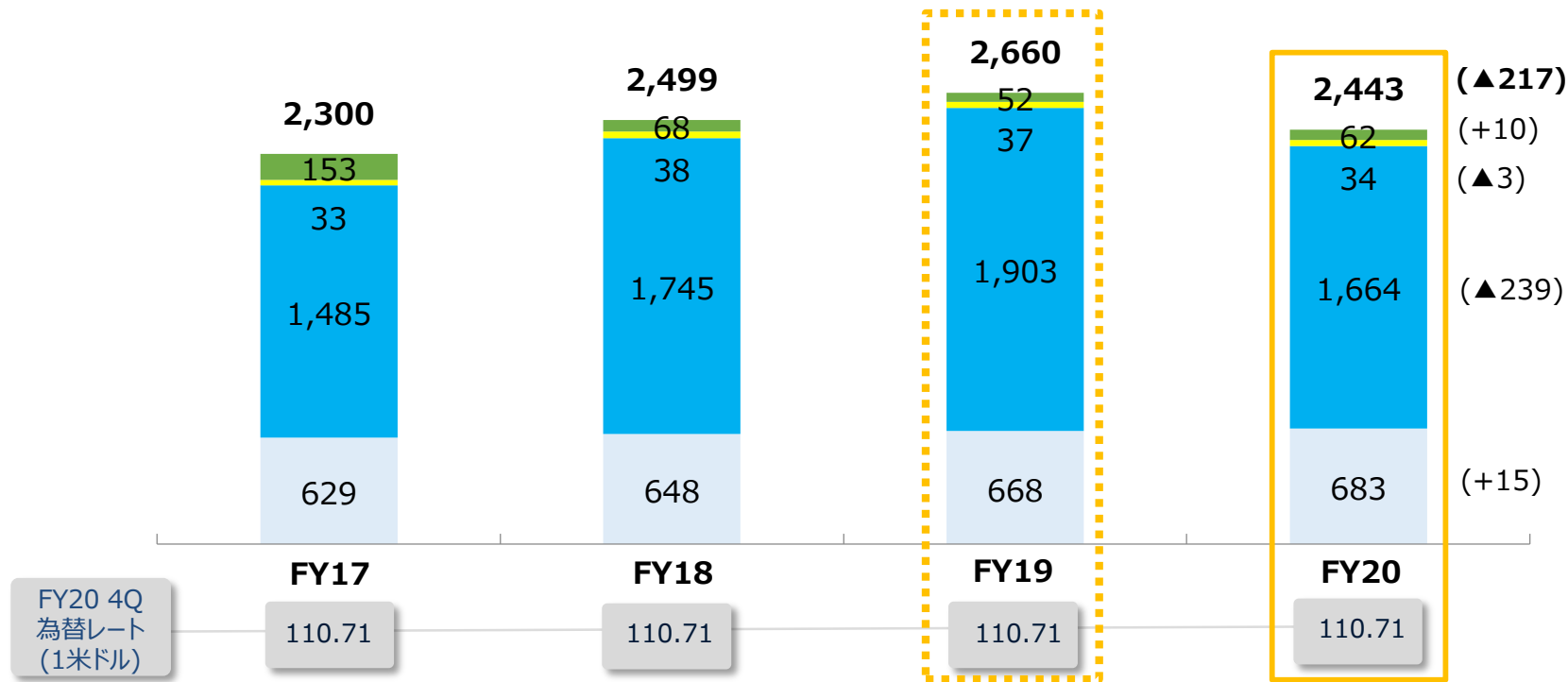
■ 制御（日本） ■ 制御（海外） ■ 計測 ■ 航機その他 (億円)



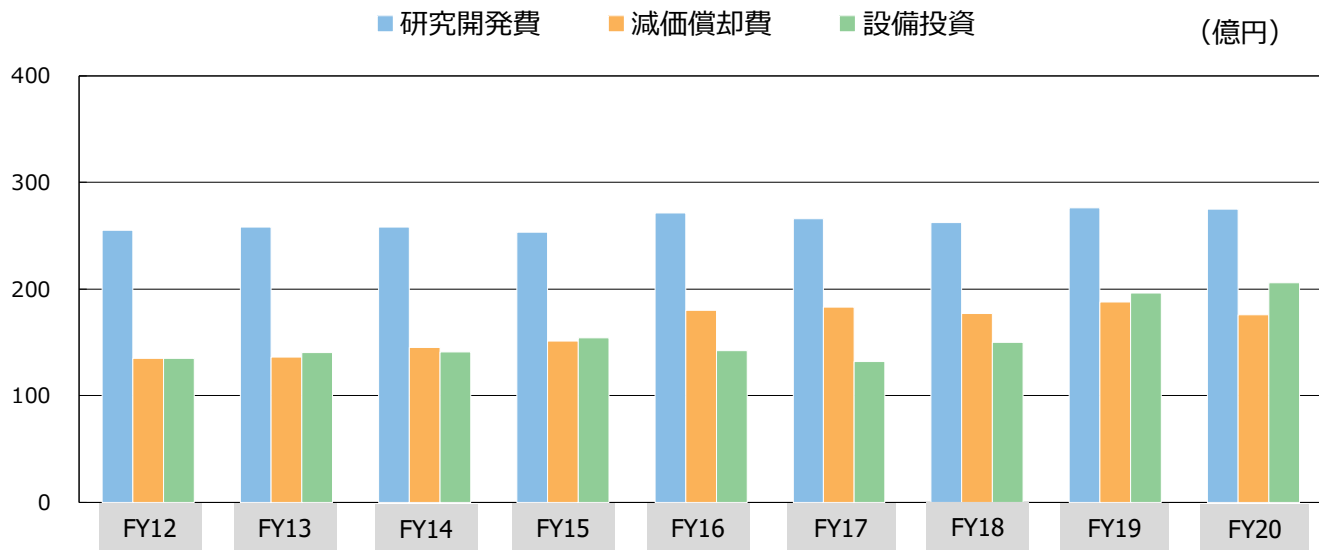
補足：セグメント別 受注残推移

* FY20 4Q期末為替レート換算

■ 制御（日本） ■ 制御（海外） ■ 計測 ■ 航機その他 (億円)



補足：研究開発費・減価償却費・設備投資

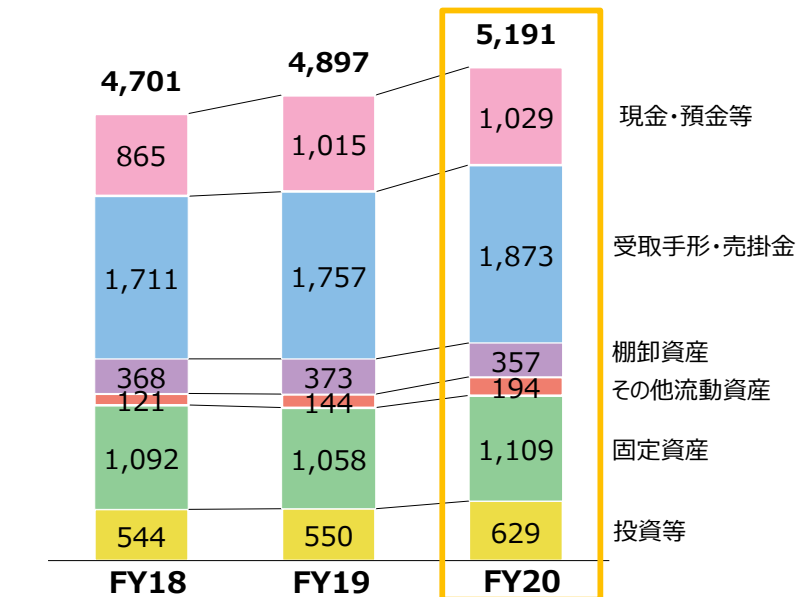


	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20
研究開発費 (対売上高比率)	7.3%	6.6%	6.4%	6.1%	6.9%	6.5%	6.5%	6.8%	7.3%
減価償却費 (対売上高比率)	3.9%	3.5%	3.6%	3.6%	4.6%	4.5%	4.4%	4.6%	4.7%
設備投資 (対売上高比率)	3.9%	3.6%	3.5%	3.7%	3.6%	3.2%	3.7%	4.9%	5.5%

*FY19よりIFRS第16号（リース）を適用

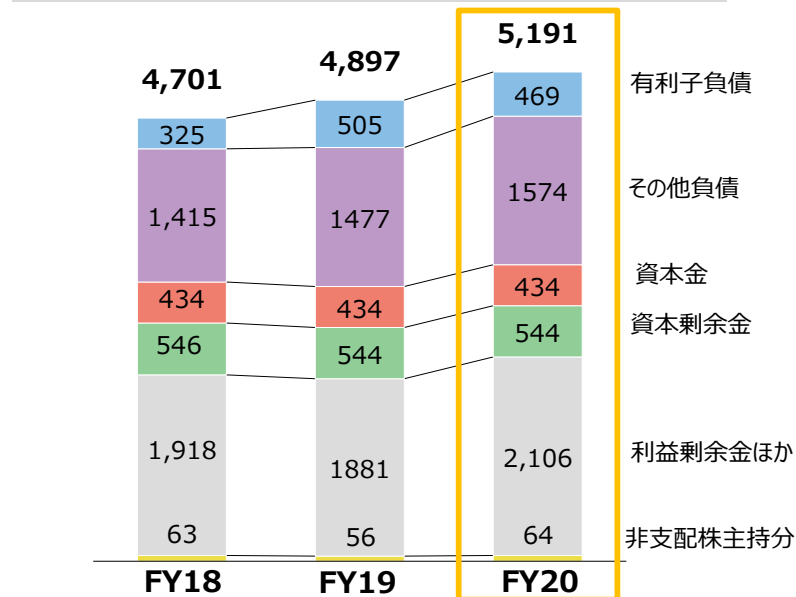
補足：貸借対照表

資産



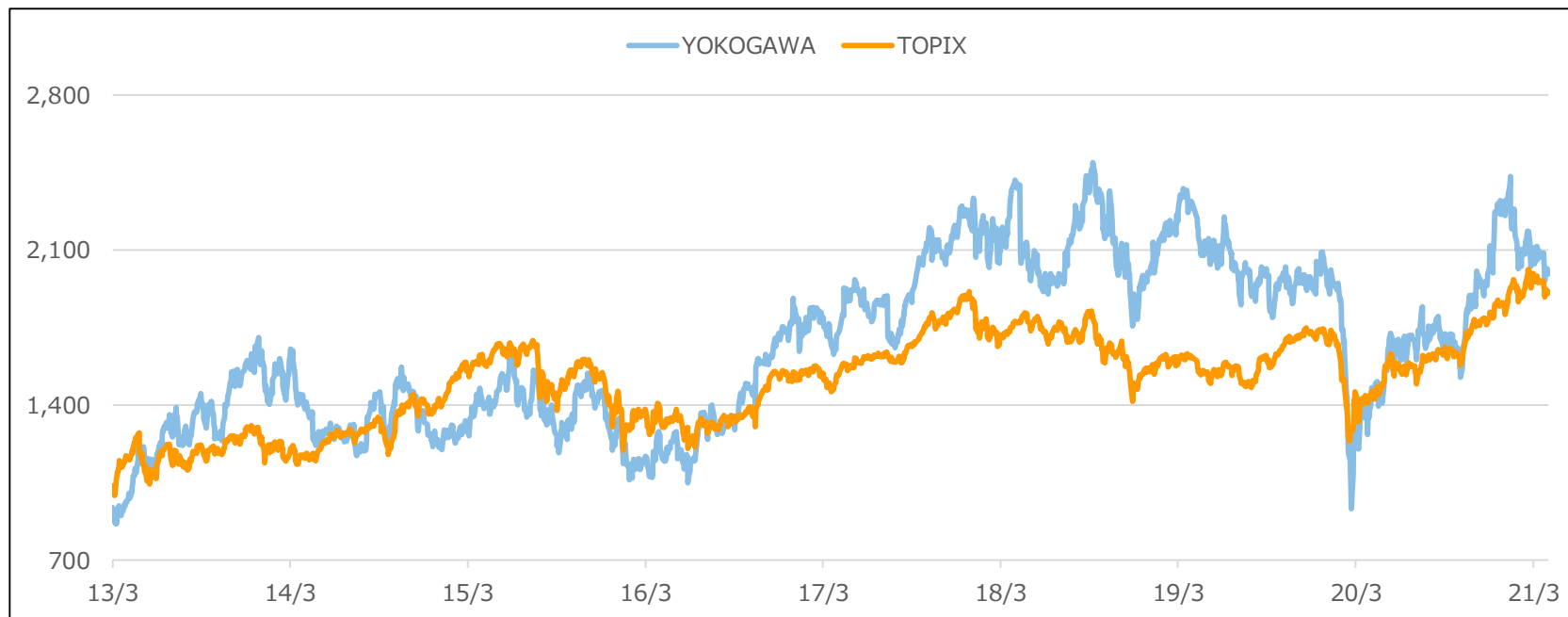
	FY18	FY19	FY20
総資本利益率(ROA)	6.2%	3.1%	3.8%
自己資本利益率(ROE)	10.1%	5.1%	6.5%
総資産回転率	0.88	0.84	0.74

負債・資本



	FY18	FY19	FY20
D/E レシオ	11.2%	17.7%	15.2%
自己資本比率	61.7%	58.4%	59.4%
一株当たり純資産(BPS)	1,086円	1,071円	1,155円

補足：株価の状況



(円)

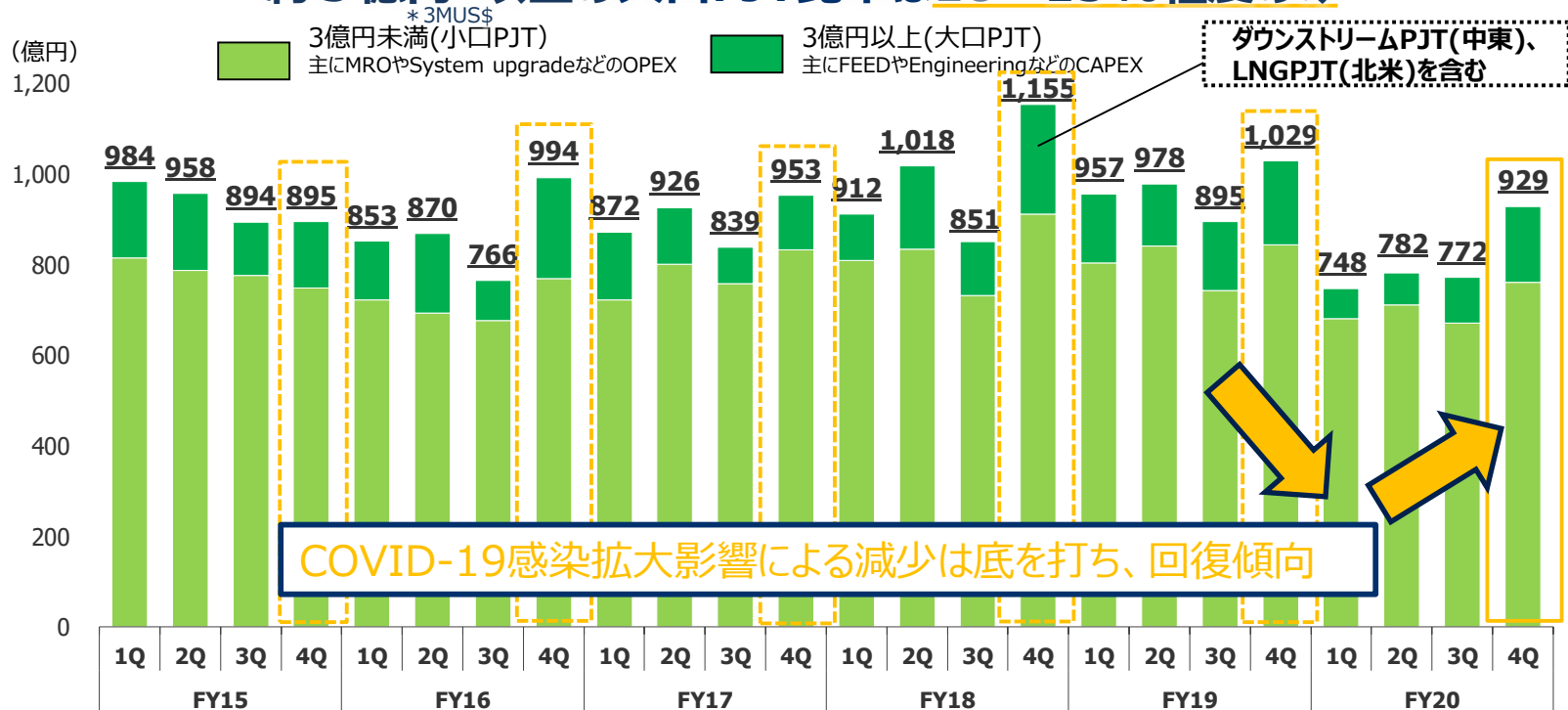
	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/4/28
Yokogawa	946	1,667	1,295	1,163	1,752	2,198	2,291	2,112	1,977	1,929	1,303	1,680	1,665	1,588	2,038	1,992
TOPIX	1,035	1,203	1,543	1,347	1,512	1,716	1,592	1,551	1,588	1,721	1,403	1,559	1,625	1,611	1,954	1,909

参考資料

- ・制御ビジネス金額別受注推移
- ・トピックス
- ・YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

ご参考：制御ビジネス金額別受注推移 <更新>

約3億円*以上の大口PJ比率は10~15%程度のみ



USD	FY15				FY16				FY17				FY18				FY19				FY20			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
USD	121.78	121.75	121.63	119.99	108.53	102.91	107.64	108.95	111.42	111.29	111.77	110.7	109.53	110.72	111.34	111.07	109.67	108.67	108.9	108.96	107.52	106.39	105.63	106.01

ご参考：トピックス (2/8～5/11) <更新>

2月

スコープコーダ「DL950」および統合計測ソフトウェアプラットフォーム「IS8000」を開発・発売
～自動車、メカトロニクス、パワーエレクトロニクス製品の開発効率向上を支援～

HIROTSUバイオサイエンスと線虫を使ったHBSのがん検査サービスN-NOSEの普及に向けて
資本業務提携契約を締結

ICQ Consultantsとバイオ医薬品事業に関するパートナーシップ契約を締結
～米国におけるバイオリクターシステムと関連製品のサポートが可能に～



3月

バイオマスマテリアル事業の成長促進に「横河バイオフロンティア株式会社」を設立
～持続可能な炭素循環の実現に向けて、バイオマスマテリアルを製造販売～

OpreX Analyzersのラインナップとして濁度検出器、残留塩素検出器およびそれらの共通変換器を発売
～上水道事業の維持・効率化に貢献～

IR DAY開催（バイオ関連事業説明会）

<https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/shiryo/business-briefing-ja/>



4月

C3 AIスイートを採用し、エンタープライズ向けAIアプリケーションを展開

NTTドコモと5Gやクラウド・AIを活用したプラントのシステムをリモート制御する共同実証実験に合意

経済産業省指針に基づく「DX認定事業者」に選定



ご参考：YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど <更新>

2021年4月現在

- DJSI-World Index (初)
- DJSI-Asia Pacific Index
- FTSE4Good Index Series
- FTSE Blossom Japan Index
- MSCI ESG Ratings AA
- MSCI ESG Leaders Indexes
- MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数
- MSCI 日本株 女性活躍指数
- CDP 気候変動対策Aリスト (初)
- CDP 水セキュリティ対策Aリスト
- SNAMサステナビリティ・インデックス
- S&P/JPXカーボンエフィシエント指数



Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

THE INCLUSION OF YOKOGAWA ELECTRIC CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF YOKOGAWA ELECTRIC CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES.
THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定および税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴う過年度遡及修正を反映しておりません。(決算短信とは軽微な相違があります)

横河電機株式会社

IR部

Email : Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>